

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度かどうか)	評価 A S D	分析と改善点
重点・ポイント ・自己学習の推進 ・社会性・創造性・読解力・表現力・思考力・協働性・主体的な学習態度の育成 ・ICT教育	⑤安全・安心・快適な学習環境の整備 ④学校・地域・関係者の連携による郷土教育の推進 ③豊かな心・健康な身体・確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進 ② ①	ひとり歩きができる子	多様性を尊重し、自ら願いをもって動く力	考える子	①④ 基礎学力の定着	・授業中のルール、学習習慣作り ・必然性のある課題設定 ・対話の充実と仲間学びの展開 ・個の実態把握と、つまずきに対する手立ての工夫 ・個に応じた反復練習(調整力)	A	・静かに話を聞く、チャイム席等のルールが定着し、落ち着いた学習環境が全学級で整った。 ・「学習に対する困り感」を明確にし、2・3年生で算数少人数指導を実施した結果、課題を達成できた児童が増えた。(「算数がよく分かる児童」90%) ・計算、漢字習得での見届けと個に応じた指導が充実した。
					①④ 学ぶ意欲の高まり	・単元と1単位時間の見通しをもつ ・一人学び(主体的)、仲間学び(対話的協働的)の充実 ・単元の出口での学びを表出する場の位置づけ	B	・教材研究を進め、ねらいを明確にした実践を重ねた。 ・対話活動の進め方、指導方法について試行錯誤の段階であり、互いに授業を見合い、研究の視点を明確にし、児童の段階に応じた学習活動を追究したい。
					③ 地域に根付いた総合的な学習	・地域人材・素材を活用した学びの充実	B	・校外学習を設け、地域に出て自分の目で見たり、感じたりする体験の機会が増え、充実した。 ・地域教材開発に取り組んだが、さらに地域人材活用を積極的に取り入れたい。(教師達成度66%)
				やさしい子	② 仲間と深く関わる力	・自分の「なりたい自分」を語り、仲間の「なりたい自分」を知り、応援する常時活動 ・仲間の特性を知り、どう関わるとよいのかを考える話し合い(みんなちがってみんないい)	B	・全校的に「なりたい自分」について取り組み、継続的、計画的に「みつめよう やってみよう」につなげた。 ・児童会活動や係活動で組織的、継続的に活動を仕組むことが不十分であり、見届けも弱い。
					② 仲間と達成する喜び	・行事、学級、期ごとのPDCAの位置づけ ・仲間の願いを知り、どう頑張るかを考える話し合い(みんなおなじでみんないい) ・歌声づくり、音楽活動の充実	A	・行事や学年学級の取組について願いを話し合い、なりたい自分につなげ、活動する場面がみられた。 ・歌声づくりについて計画的に集会を位置づけ、取組—発表を仕組み、児童による主体的な活動が展開できた。
					② 自分を見つめる力	・生徒指導事案に対する迅速なチーム対応、家庭との連携	A	・早期発見・対応に努め、児童の気持ちを受け止めた上で、自身をみつめ、考えさせる指導ができた。 ・事案件数は多いが確実に解決につなげている。
				元気な子	① 自他の心と体を大切にする	・体育授業、体育行事の充実(運動量確保) ・「廊下や階段を走る子がいない学校」→自己管理能力	A	・安心安全な授業、行事の運営に努めた。低学年での体育指導が充実し、体力増進・意欲付けにつながった。 ・休み時間等に外遊びができる児童が増えている。
					⑤ 安全にかかわる知識・体験	・「命を守る訓練」の設定工夫	A	・事前指導を通じて、真剣な心構えができた。 ・通学班登校におけるリーダー指導と見届けが充実し、保護者や地域との協力体制が整った。(保護者の連携:達成度95%)
					⑤ 心のリラクスペースの創出	・どんぐりっこルーム・山王水族館	B	・ケース会や懇談での情報共有により指導体制が整い、役割が明確になり、児童や保護者の安心につながった。 ・校内支援体制について周知に努めた。(「よく知っている」と答えた保護者55%)

学校運営協議会における主な評価内容

○地域と一体になった通学班指導により、保護者の理解・協力が一層よくなり、トラブル激減、不登校解消につながった。
 ○集会で自分の思いを堂々と言える子どもが育っている。内容は児童のアイデアが盛り込まれていて創造的である。
 ▲一方で挨拶ができる子、できない子の差が大きい。家庭、地域と連携していきたい。
 ▲学校生活に適応が難しい児童の配慮、家庭支援等、教員の負担が過大であることを心配している。